

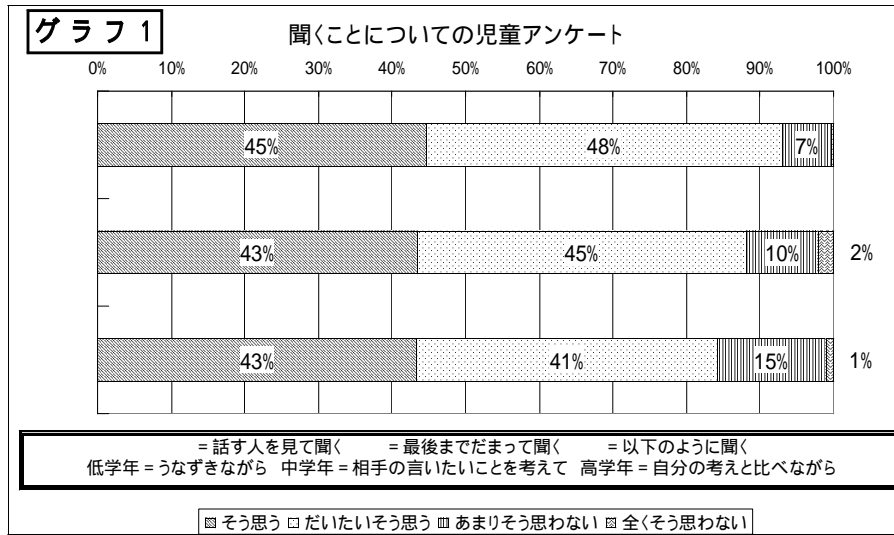
後期学校評価

グラフ1について

1年間、「聞くこと」を重点目標として、低・中・高学年ごとにめあてを決め、指導を進めてきました。聞くことに関する児童アンケートでは、肯定的な回答が多く、どの項目でもほぼ90%前後の児童がしっかり人の話を聞いていると自己評価しており、年2回（7月・1月）のアンケート結果

に大きな違いは見られませんでした。また、聞き取りテストの平均点も前期は85.6点、後期が85.8点と一定していました。教師の見取りもあわせて考察すると、1年間の取組を通して、「良い聞き方」を意識する児童が増えてきたこと、外面的な聞く態度は定着しつつあるということが言えると考えています。また、学校朝会の話も真剣に聞こうという姿勢がかなり見られるようになっていきます。しかしながら、「集中して聞く」「考えながら聞く」という点では、まだ課題が残るように考えています。

今後、「聞くこと」が児童の内面的な学びの深化につながるようにするために、「聞く」と「話す」を併せて指導する必要があると考えており、ただ黙って聞くだけでなく、うなずく・質問する・感想や意見を述べるといった反応を返すことを大切にしたいと考えています。さらに、基礎的な学力の支えが乏しいために、内容が聞き取れない、何が大切かが分からない児童もあり、思考力・判断力・表現力の基盤となる基礎的・基本的な学力をきちんとつける努力を、引き続き継続していきたいと考えています。

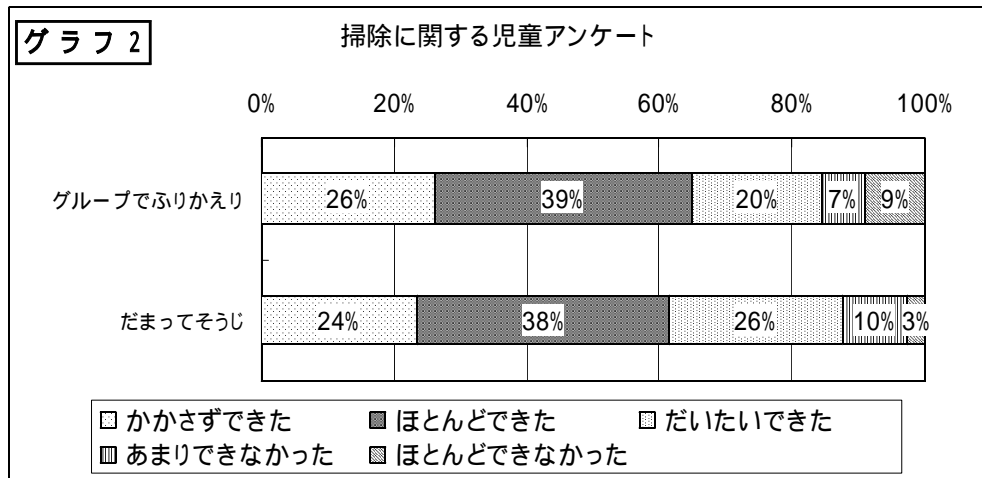


グラフ2について

黙って掃除を行うという自問清掃の取組を継続しています。この自問清掃について、年2回アンケートを行っています。前回10月に実施したアンケートと1月に実施したアンケートを比較すると、全体として肯定

的評価が上がっています。また、今回のアンケートのよると、「反省」「黙働」の2つの目標に対して、8割以上の児童が「できた」と回答していることは、大きな成果であると考えています。

来年度も教職員全体で子どもとともに清掃活動をし、自問清掃が根付いていくように取り組んでいくとともに、児童による自主活動として委員会でも取り組ませていきたいと考えています。

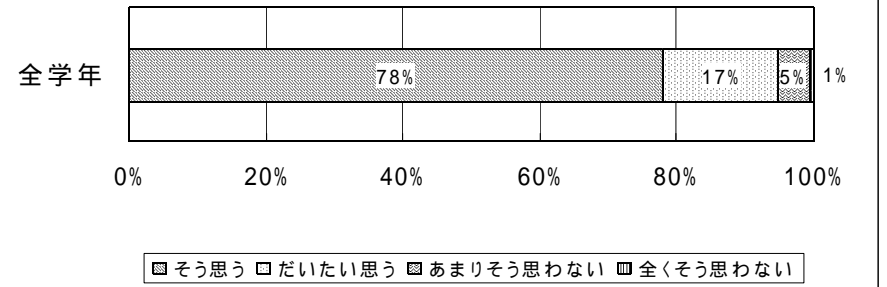


グラフ3について

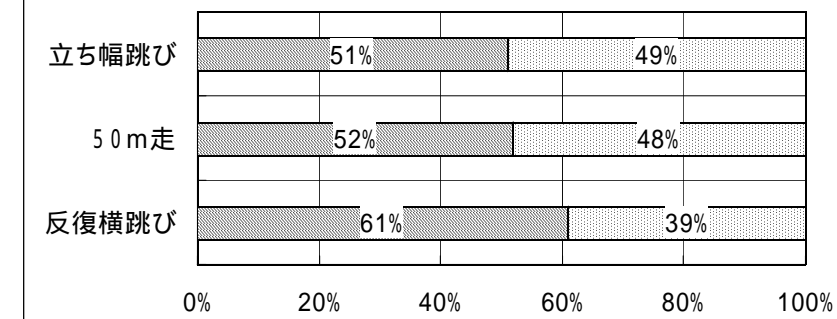
本年度の研究主題「自分に合っためあて」をテーマに、授業研究を行いました。授業の中で、めあてを立てさせ、児童一人一人の課題を明確にしなが、主体的に取り組ませる授業を

目指しました。全職員による取組によって、右のグラフのように「体育好き」な児童が増えています。また、別のアンケートの「外に出て遊んでいるか？」という問いに対して、肯定的な回答をしている児童が、5月は83%、寒い12月でも85%あり、体を動かす楽しさを、大休憩や昼休憩に味わっている児童が多くいることが分かりました。実際、外遊びの児童数を、10月～11月に調査した結果からは、大休憩・昼休憩とも60%以上の児童が外遊びをしていることが分かりました。また、行事や天候により、80%を超える児童が外で遊んでいる日もあったことから、「体育が好き」や「運動が好き」な児童が増え

グラフ3 「体育は好きですか？」児童アンケート



新体力テスト5月と11月の比較
経過月数を加味した伸び率が、全国平均を超えた児童の割合



グラフ4について

体力が伸びている児童の伸び幅はとて大きく、全体の平均値を上げる要因となっています。一方で、体力が伸びていない児童と比較すると、その差が大きく広がっているとも考えられます。

これらの成果は、校庭芝生化や業前運動・休憩時間を利用した「新体力テスト練習会」の取組などを通して、運動をすることへの意欲が高まり、進んで体を動かす児童が増えたことによるものと考えています。しかし、体力の個人差は、広がっています。体育科授業での取組を通じて、自分の体力への関心を高めるとともに、しっかりと体を動かす習慣づけの方策を検討していく必要があると考えています。

体育科授業での体力向上を意識した準備運動の継続的な実施や体づくり運動の取組、また体育委員会の活動の充実など、来年度しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

本校は、教育目標の1つとして、体力向上を位置づけています。確かな学力・豊かな心の土台が、たくましい体である。と考えているからです。他の教育課題に波及効果のある取組を、来年度も継続していきます。

二月の子ども俳句
春休みたのしくすごす
春にはねきれいなさくら
もう少し五年生だよ
さくらさく
さくらさく
今年も花み
自信あり
できる
あぶないよ
沖原未宇
原島捺歩
楠美優
植木菜瑚
宮本和葉

あいさつはみんなが笑顔
寒い冬冬がくれば春もくる
雨がふるもう少しで春が近づくと
もうすぐで春がくる
飛田寧々
鈴木みずき
沖原未宇
中祖ちい威



